



学校体育功労賞を受賞して

南阿蘇村立南阿蘇中学校 校長 坂梨正文

時代が変わり、令和となつて最初の全国学校体育功労賞という大変名誉ある賞をいただきました。多くの素晴らしい先生がおられる中で受賞させていただき、身に余る光栄であり、恐縮にたえません。このような私をこれまで支えていただいた皆様方に心より感謝申し上げます。

私の教職人生のスタートは、昭和57年、県立鹿本高等学校の非常勤講師でした。大学を卒業してすぐでしたので、ここでの1年間は私の教師生活の礎になったといつても過言でありません。それから新採として熊本市立麻生田小学校に赴任、3年後には、出身地である阿蘇中学校（旧阿蘇中）へ念願であった体育教師として勤務することができました。その2年後、熊本県学校体育研究発表大会が阿蘇で開催されることとなり、有り難いことに「保健」の授業をさせていただきました。それまでは「雨降り保健」的な授業をしていた私にとって、体育の授業づくりを一から考えさせられたとても貴重な経験でした。その他にも中学校教師として生徒指導、進路指導、部活動等のベースになった中身の濃い7年間でもありました。その後、出身校である阿蘇北中学校に勤務することとなり、第1回全国中体連駅伝競走大会に係わらせていただきました。当時、阿蘇郡中体連理事長の光永先生から決勝スタンドの設置を依頼されました。簡単に引き受けたものの、その作業は思った以上に大変で、スタンドを組み立てる部品であるパイプや板などの資材を4トントラックで運び、でこぼこの地面に組み立てたことを思い出します。しかし、大会が成功したときには、自分の仕事が全国大会成功の役に立てたという充実感でいっぱいでした。また、部活動ではバレーボールを指導させていただき、県内外の多くの優れた指導者と交流することにより、自分のチームを強くするだけでなく、部活動を通しての人づくりも学ばせていただきました。その後、学校現場を離れ、阿蘇教育事務所、熊本県教育庁体育保健課と体育行政に6年間お世話になりました。文書起案、決済、議会対応、予算作成等、慣れない業務でしたが、周りの先生方に助けられながら、各種研修会の計画・運営、子どもたちの体力向上推進事業、県・九州・全国学校体育研究発表大会の助言、「学校体育の手引書」、「運動部活動の手引書」作成等にも携わることができました。振り返れば、目の前に子どもたちはいませんでしたが、「自分の仕事の先には県下の子どもたちがいる」ということを言い聞かせながら、学校現場では経験することのできないことを沢山学ばせていただいたように思います。その後、教頭5年間、校長9年間と管理職として沢山の経験をさせていただきました。特に、現在の南阿蘇中学校では、新設校としてスタートしたばかりの平成28年4月、熊本地震で甚大な被害を受けました。心が折れそうになったこともありましたが、生徒や先生方の頑張り、保護者や地域や全国の方々そして中体連の先生方に支えさせていただきました。また、阿蘇郡市中体連会長としては、平成27年度に熊本県中学校総合体育大会阿蘇大会、本年度の11月には熊本県中学校体育研究大会阿蘇大会に係わらせていただきました。体育教師の数も少なく財政面でも厳しい中ではありましたが、皆で知恵を出し合いながら成功のうちに終えることができ、改めて阿蘇郡市中体連の絆の深さを実感したところです。併せて、県中体連では、楠木会長、岩下会長、中島会長のもと副会長としてお手伝いをさせていただき、微力ながらも多くの先生方の協力で課題を一つずつ乗り越えていくことができました。これからの時代、学校を取り巻く環境は複雑多様化し、県中体連においても様々な多くの課題が出てくるかと思いますが、これまでの先輩方から受け継がれてきた伝統と絆、そして何より生徒のために何を為すかという熱い思いを持ち続けて頂き、中体連発展のために尽力されることを心からご期待申し上げます。

最後に教職生活37年というこれまでの経験が果たして生徒たちのためにどれだけ役立てられたかは疑問ですが、自分の中では素晴らしい宝物として、いつまでも大切にしていきたいと思っております。そして残された教職生活を教育者として、また一人の体育人として悔いのないよう務めるとともに、熊本県中体連・中体研の益々の発展と関係の先生方のご健勝とご活躍を祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。